

## 地域基礎Ⅰ履修案内

### フィリピン研究入門、木3限、小川英文

**授業の目標：**この授業では、フィリピンと関係をもち、フィリピンについて考え、フィリピンの問題を自分なりに論じることができるように、1年生で学ぶべき基礎的な事項を身につけ、2年生以降のフィリピンに対する取り組み方の基本的姿勢を形成することを目標とする。実際には、自分で問題を設定し、自分で調べ、自分でまとめて、文章で表現することを身につけることを目標とする。

授業は、以下のような疑問を解消しながら進んで行こうと考えています。

1. フィリピンと自分との関わりを、どのような問題について設定し、その問題についての疑問や関心をどのように膨らませるか。
2. そしてそれらの疑問や関心について、いったいどのように情報や文献を集めればよいのか。
3. さらに集めた情報や文献を自分なりにまとめるためには、それらの情報や文献をどのように読み、問題をさらに掘下げたり、広がりをもたせていくのか。
4. そして最終的にそれらの情報を自分なりにまとめて、レポートや論文のかたちを書いて表現し、主張すればいいのか。

論文作製のための問題の整理のしかたから文章の書き方、そして各人のテーマに則した文献の探し方、問題への視角の設定、分析方法の設定、さらに目次の立て方、実際の執筆までのアドバイスをを行います。

世間の風評に惑わされず、常識の犠牲者にならないように、自分で情報を集めて、自分で判断でき、ちゃんと自分の主張がある文章を書けるためにはどうしたらいいか？これは小川自身の問題でもあります。文章の書き方の本を読みながら、わたしの経験を交えながら、みなさんと考えて行きたいと思えます。

**授業のスケジュール：**以下、おおまかな授業スケジュールを述べます。

4月～7月までは、フィリピンの問題について論じた文献や、**テーマの選び方、問題の設定のしかた**や**文章の書き方**についての本を紹介したり、現在フィリピンについてどのような研究分野があるかなどについて講義します。毎回の授業の冒頭では論文作製のためのワークブックを教材に使用します。ただしワークブックは、授業では、簡単にわたしが説明するだけで、自宅で自学自習してきてください。毎回、授業の始めにワークブックの練習問題を宿題としてやってきたか調べます。このタスクの達成度は直接成績に反映します。

つぎに図書館での本の探し方、インターネットでの**文献検索方法や情報の集め方**について実際に体験しながら講義します。AV実習室のコンピュータを使いながら情報の集め方について講義します。

この間にみなさんは、それぞれのフィリピンについての関心や疑問を研究テーマとして設定します。そして自分でその問題について論じている参考文献を集め、そのリストを作っていきます。

つぎに、わたしが与えた論文の購読やテーマについて調べ、発表してもらいます。その際、みなさんを5つのワーキンググループに分け、グループは互いに競い合って、購読と発表を行い、その成績

によってグループの再編を行います。読んできてもらう論文はフィリピンに関するもの、現在の学問の方向性を決定づけているグランドセオリーや新しいテーマについてのものを、わたしが選んできます。具体的には、世界システム、ジェンダー、ナショナリズムなどです。夏休みまではこのようにして、研究の基本的な姿勢と技術について、みなさんの体験を通じて講義します。

夏休み前の授業では2週にわたって、夏休み中に書くレポートのテーマとその研究の内容について、ひとりずつ発表してもらいます（ひとり約15分）。それぞれのテーマと分析の方法、そしてデータ収集の方法と文献目録、さらにレポートの構成（目次）について発表してください。このレポートは夏休み明けに提出してもらい、成績の良いものを授業中に公表します。

10月～12月にも前期と同様に、与えられた論文とテーマについて、グループごとに購読と発表をこなし、冬休み中にレポートを課します。

1月～2月には、2年生以降のより具体的な研究テーマの設定（3年以降のコース選択を視野に入れた）を各人が行い、各自発表してもらい、それについて全体で討議します。そのテーマを春休み中にレポートにまとめ、2年生になってからの研究課題とし、3年生以降、卒論へと繋がるように発展させる。

**成績評価のしかた**：購読、発表、ワークブックのタスク消化、2回のレポート、発表に対する質疑応答や討議での積極度によって総合的に、A～Dまでの評価を下します。

**みなさんへ望むこと**：1年間、かなりきつい授業ですが、みなさんの大学での生活のあり方を決定づける授業ですので、元気に、積極的に取り組んでください。

**文章を書くためのテキスト**：

『留学生・大学生のための論文ワークブック』、くろしお出版

[刈谷剛彦](#) 『知的複眼思考法』、講談社プラスアルファ文庫

**フィリピンを学ぶための参考文献**：基本的なもののみ

上智大学アジア文化研究所編

1999 『新版 入門東南アジア研究』、めこん

宮本・寺田編

1994 『アジア読本 フィリピン』、河出書房新社

これらの文献の巻末には、フィリピンの分野別の参考文献リストがあります。